



【第184号】

平成27年6月15日発行

編集と発行

社会福祉法人
彦根市社会福祉協議会

〒522-0041 彦根市平田町670
TEL 22-2821 FAX 22-2841
ホームページアドレス
<http://www.hikone-shakyo.or.jp>



この広報紙の一部は、赤い羽根共同募金の配分金やみなさまからの会費で作成しています。



▲お客様と一緒に「みんなで体操」での1コマ。皆さん元気よく腕を上げられていて、まさに会場の「みんな」が1つになった瞬間です!

公演100回達成！ふたば会レイカ28

本会登録ボランティアグループの1つ「ふたば会レイカ28」がこの度、ボランティア公演100回を達成しました！

「ふたば会レイカ28」は、社会参加したいという高齢者に新しい知識や技術を提供し、地域の担い手となられることを支援する目的で設立された「レイカディア大学」の28期生の仲間で結成し、平成21年2月より活動を開始しました。その活動内容は、市内外を問わず福祉施設等での銚太鼓やよし笛の演奏、紙芝居や寸劇などの公演です。1回の公演の中にこれらの内容がふんだんに盛り込まれてあり、公演を見られた方からは「また来てほしい。」と、とても喜ばれています。

代表幹事の北河さんは「みんなで力を合わせて、ますます充実した地域活動に取り組みたい。」と、これから活動に向けてさらに意欲を燃やされています。

★トピックス★

①完成！第1次地域福祉活動計画
(詳細：2・とじこみページ)

②地域づくり実践中!!
(詳細：3ページ)

③子育て中のあなたへ
メッセージfor You
(詳細：4ページ)

④各種助成事業のご案内
(詳細：5ページ)

住民と協働した取り組みをめざして



社会福祉法人
彦根市社会福祉協議会
会長 圓城

近年、少子高齢化や核家族化が進み、市民生活の多様化など社会情勢の変化とともに、経済的困窮をはじめ、孤独死、虐待、さらには引きこもり問題など、さまざまに、福祉課題、生活課題が潜在化しています。

一方、安心して暮らせる地域社会を実現するためには、公的サービスの充実はもとより、市民一人ひとりが地域を支える一員として、コミュニケーションの構築に向けた取り組み、『地域の福祉力』への期待も高まっています。

このようなか、「地域」を舞台に活動する地域住民や当事者、福祉活動団体、福祉事業者、ボランティアなどが主体的に福祉のまちづくりに参画することによって、よりよい「地域」での暮らしを実現していくための取り組み方法を具体化した『第1次地域福祉活動計画』を策定いたしました。

特に、地域福祉の推進にあたっては、「おたがいさん」の心でつくる温かいまち彦根」を活動理念とし、それを実現するために5つの活動目標と10の活動項目を設定し、住民福祉活動計画の取り組みの支援とも合わせ、市全域で地域福祉活動を展開してまいります。また、こうした「地域福祉活動」を推進・支援していく市社協の体制について「基盤強化計画」に沿つて、組織体制や財源、人材等の強化を図つてまいります。

さらに、本年4月から法律が施行された生活困窮者自立支援について、従来から本会が実施しております生活福祉資金の貸し付けや総合相談・生活支援等を通して、相談者に寄り添つた丁寧な支援を進めるとともに、行政や他機関等とも連携しながら、相談者の自立に向けた家計等の支援を行つてまいります。

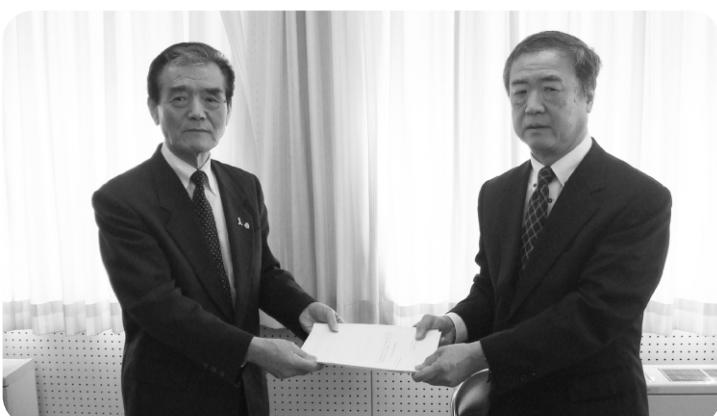
いずれにいたしましても、今日までの取り組みを検証しながら創意と工夫を重ね、「住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向け、住民の皆さんとの協働のもと積極的な取り組みを進めていますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

完成!! 第1次彦根市 地域福祉活動計画

成りました!

昨年より作成を進めてきました「彦根市地域福祉活動計画」がついに完成了! 「住民福祉」懇談会でいただいた、皆さんのが声を基に完成したこの計画に沿って、市が策定した「地域福祉計画」と連携を図りながら、ますます「地域の福祉力」を高めるため、地域の皆さんと一緒に活動していくままで、どうぞよろしくお願ひいたします。

※本紙中央部に「彦根市地域福祉活動計画」の概要版を綴じ込みましたので、ぜひご覧ください!



▲岡野策定委員長(写真右)より圓城会長(写真左)に答申されました。



▲圓城会長(写真左から2番目)より大久保市長(写真中央)へ提言いたしました。



▲ひまわりサロンの田舎として作製されたタペストリー。青い空に力強く咲き誇るひまわりが印象的です。その他、ボランティアお手製のウエルカムボード等もあり、全てお見せできないのが残念です！



▲テープカットの様子。子ども会からもセレモニーに出席されました。

現在、約300世帯、730人ほどの方が暮らしておられ、夏祭り等自治会行事にも取り組まれる一方で、住民の高齢化が進むなど、少しずつ課題も出てきています。

そうした中、自治会、民生委員などが連携しながら学習会や話し合いを重ねられ、『誰もが気軽に集まる居場所』としてふれあいサロンの立ち上げを企画されました。

老人会の後押しや、サロンボランティアに約30名の方の応援もあり、この度正式に活動を開始されました。

太平団地自治会（旭森学区）は国道306号線沿いの正法寺町と原町にまたがり、約40年前に組織されました。

現在、約300世帯、730人ほどの方が暮らしておられ、夏祭り等自治会行事にも取り組まれる一方で、住民の高齢化が進むなど、少しずつ課題も出てきています。

そうした中、自治会、民生委員などが連携しながら学習会や話し合いを重ねられ、『誰もが気軽に集まる居場所』としてふれあいサロンの立ち上げを企画されました。

老人会の後押しや、サロンボランティアに約30名の方の応援もあり、この度正式に活動を開始されました。

現在、約300世帯、730人ほどの方が暮らしておられ、夏祭り等自治会行事にも取り組まれる一方で、住民の高齢化が進むなど、少しずつ課題も出てきています。

そうした中、自治会、民生委員などが連携しながら学習会や話し合いを重ねられ、『誰もが気軽に集まる居場所』としてふれあいサロンの立ち上げを企画されました。

老人会の後押しや、サロンボランティアに約30名の方の応援もあり、この度正式に活動を開始されました。



太平団地自治会に ふれあいサロンが誕生！

～「太平団地ひまわりサロン」～



4月11日

(土)には太平団地集

会所でボランティアや応援してく

ださる住民の方々が力を合わせ、

テープカットやもちつきなどのセ

レモニーが盛大に行われ、オープ

ニングに花を添えられました。

住民のみなさんはもちろん、ス

タッフ全員が初めての経験である

ことから、当面はサロンの参加対

象者を75歳以上の方と一二ヶ月に

一回開設される予定ですが、ゆく

ゆくは住民みんなのサロンにして

いきたいとのことです。

焦らず急がず。ゆっくり、じつ

くりと住民同士のつながりを強く

しながら、地域のみんなが気軽に

集まることができる居場所になる

ことを期待したいと思います。

教えて！ 「ふくしの店」

ここでは、読者の方からいただいた『ふくしの店』はどこにあるの？

「何を売っているお店ですか？」という声にお答えします！

「ふくしの店」とは、彦根市福祉センター別館の1階にある、市内の障害福祉事業所（下記参照）で丹精込めて作られている自主製品を展示・販売する場所のことです。（写真右）

各事業所の自主製品を販売することで、より事業所のことを身近に感じてもらうとともに、みなさんに製品を手に取っていただく機会が増えることで、各事業所の利用者さんの地域生活の向上につながります。

みなさん、平田町の福祉センターにお越しの際はぜひ、ご利用ください！

<<「ふくしの店」製品取扱事業所一覧>>

- ・あじさい福祉会
- ・たんぽぽ共同作業所
- ・手づくり工房 種芸
- ・彦根学園
- ・夢工房if

す。お気軽にお買い求めください。この
ケース内の商品については、彦根市
社会福祉協議会で取り扱っております

ふくしの店



これが
「ふくしの店」
ですぞ！

子育て中の あなたへ



メッセージ for You



今まさに、子育て中のあなたを応援するため、市内のやまとまな子育て支援団体などの紹介や、関係者、子育ての先輩からのメッセージをお届けする「コーナー」。

今回は、「彦根おやこ劇場」さんの素敵な活動紹介と、メンバーのみなさんについてお話を伺ってきました！

聞き手（以下、聞）…まずは、どのような活動をされているのか、教えてください。

彦根おやこ劇場（以下、彦）…
私たちの活動は会員制です。0歳から青年・大人の仲間がともに育ち合うことを大切にし、皆で活動を創っています。主な活動としては「舞台鑑賞」と「主活動」の2つの活動がありま
す。

どもたちに「体験させたい」活動をそれぞれが企画し、実際に活動しています。

子どもの様子やつぶやきに目を向け、寄り添うことでヒントを得て「自主活動」を実現していくのですが、話し合いを重ねる中で実現に至らないこともあります。いろいろと失敗を重ねることで、子どもも親も次につなげる力が身に付くことから、「失敗してもいいじゃないか」という気持ちを大切にしています。会員同士の意見のぶつかり合いも大事な過程です。

子どもたちと観たい作品を選ぶところから行っていて、事前活動でワクワク感を楽しんだり、舞台の鑑賞後にはみんなで感想を共有したり、一連の流れを大切にしています。

聞…会員さんの自主性を大切に活動されていますが、これまで多くの会員さんと関わられてきた中で、どのような子育ての悩みを抱えられていることが多いと感じられますか。

彦…子どもが何をしたいのか、親がどこまで手をかければいいかが分からぬ、という声が多いように思います。また、子どもの成長具合を、他の子どもたちと比べられることで不安にな

私たちもそうでしたが、子育ては①悩む・②周囲のまなざしを通じて子どもの成長に気づく（発見）→③子育てを楽しいと思う→④子どもに新しい変化が見られる→①悩む：の繰り返しかなと感じますし、そこで欠かせないのは、いろいろな世代の人との多様な関わりやあたたかく見守るまなざしだと思います。

そういう中、会員同士の会話を通して「（親が）子どもに對して何をしたいか」「子どもがどうしたいのか」に親が気づくことで、子どもの成長にも気づき、「子育てって楽しいな」と思われる場面がおやこ劇場ではよく見られます。

そういう中、会員同士の会話を通して「（親が）子どもにられることが多いように思います。す。



「かたぐるま」の活動→
中の1コマ
かわいらしい節分の才
ニさんたちです。

昔よく見られた、ご近所同士のつながりに似ているかな。
聞..たしかに、第三者だからこそ気づくことはありますね。では最後に、子育て中の方にメッセージをお願いします。



←取材に協力くださった「彦根おやこ劇場」のみなさん



「彦根おやこ劇場」では、0歳から未就学乳幼児の子どもとお母さんを対象とした
「親子サークルかたぐるま」
の活動もあります。
日時：毎週水曜日 10時～15時
(時間内ならいつ来て、
いつ帰っても自由です)
場所：子どもと大人の基地
銀座町駅旧／ムラ文具店3F
(左の地図を参照ください)



連絡先：彦根おやこ劇場 事務局 090-1226-5077
ホームページ：<http://hikoneoyako.web.fc2.com/index.htm>
Facebook：<https://www.facebook.com/hikoneoyakogekijyou>

“おたかしいさん” の心でつくる 温かいまち 彦根

第1次 彦根市地域福祉活動計画

概要版

計画期間

平成27年度～31年度

平成27年(2015年)3月

彦根市地域福祉活動計画策定委員会
社会福祉法人彦根市社会福祉協議会

社会福祉協議会は、
「誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らしたい」という素朴な願いを叶えるため、
「地域が主役」となった福祉のまちづくりを進める組織です。



地域福祉 推進計画

活動理念 “おたがいさん” の心でつくる温かいまち彦根

「住民福祉懇談会」を通して明らかになった、市内全域に共通した福祉の課題に取り組むもので、活動理念を実現するため、5つの活動目標と10の活動項目を掲げました。

活動目標1：みんなを地域の中で大切にする意識づくり

<活動項目1：さまざまな人たちの存在や、多様な暮らしを理解しあう風土づくり>

地域での福祉教育（出前講座）の充実、福祉活動事例の発信と理解の促進、学区（地区）社会福祉協議会活動による身近な学びの推進に取り組みます。

<活動項目2：いろいろな支え合いの形を学び合える地域づくり>

学校等における福祉教育・学習の推進、防災・福祉教育の推進、地域福祉活動やボランティア・市民活動の情報発信に取り組みます。



活動目標2：みんなで孤立を見逃さないつながりづくり

<活動項目1：互いに「助けて」を言える地域づくり>

あいさつプラスOne運動の展開、「孤立」について学ぶ場づくりに取り組みます。

<活動項目2：平時のつながりを活かす防災・減災体制づくり>

災害に対する学びの場づくり、災害ボランティア活動の理解促進と災害ボランティアセンターの周知強化に取り組みます。



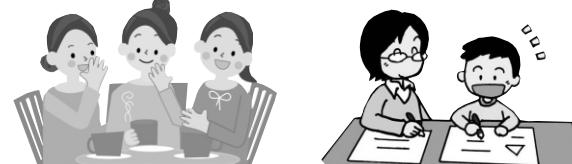
活動目標3：みんなが安心できる居場所づくり

<活動項目1：身近なところで、さまざまな世代の人たちが気軽に集える場づくり>

共同募金を活用した自治会における福祉活動の推進、学区（地区）社会福祉協議会活動によるふれあいの場づくり、居場所づくりの推進に取り組みます。

<活動項目2：同じ悩みを持つ人たちが交流でき、心が軽くなる拠り所づくり>

同じ悩みを持った人たちの拠り所づくりの推進、地域の社会資源を活かした子どもの居場所づくりに取り組みます。



活動目標4：みんなが担い手 みんなが参加するしくみづくり

<活動項目1：あらゆる人財が力を発揮する、支え合いのしくみづくり>

身近な地域で活動に参加できる場づくり、助成金の活用による支え合いのしくみづくり、ボランティアセンターの基盤強化と機能の充実に取り組みます。

<活動項目2：福祉関連情報が発信され、必要な人に届くしくみづくり>

気軽に福祉関連情報を得ることができる場所の開拓、障がい当事者や外国籍住民等への情報提供、ホームページやSNS（ソーシャルネットワーク）を活用した福祉情報の発信に取り組みます。



活動目標5：みんなの困りごとを放っておかない相談体制づくり

<活動項目1：ニーズキャッチの体制づくり>

地域からの困りごとをすくいあげるネットワークづくり、心配ごと相談事業の拡充、相談支援の充実に取り組みます。

<活動項目2：ワンストップのネットワークづくり>

ワンストップ相談の機会の保障、相談機関のネットワークづくり、（仮称）暮らしのマネジメント支援の実施に取り組みます。



彦根市地域福祉活動計画とは、彦根市内の「地域の福祉力」を高めていくため、**民間の立場**からどのように活動していくかをまとめた計画で、「学区（地区）住民福祉活動計画」「地域福祉推進計画」「彦根市社協基盤強化計画」の3つの計画から成り立っています。（裏面を参照）

平成27年度から31年度の5年にわたり、これらの計画に基づき、市が策定した「地域福祉計画」と連携を図りながら、**住民のみなさんや市内の福祉事業所等と手を取り合って**、さまざまな福祉活動を進めています！

学区(地区)住民福祉活動計画



住民のみなさんの身近な地域において、生活・福祉課題に目を向けながら、地域の特性に沿った福祉活動・まちづくりを進めるための計画です。

(取り組み例)

- ちょっとしたお手伝いなど日常のくらし支援で安心の輪づくり
- 互いに気にかけ合い、見守り合える地域づくり
- 地域の中にいつでも集まれる活動の拠点をつくりましょう
- まちの歴史やエピソードを若者や子どもたちに伝えていこうなど

彦根市社協基盤強化計画

地域福祉を推進する彦根市社会福祉協議会の基盤強化を目的とした計画で、3つの強化目標を基に進めています。

強化目標1

協議体としての役割を発揮できる体制と業務内容の見直し

(取り組み内容)

- ・法人運営体制、事務局運営体制の充実
- ・事務局組織の見直し

強化目標2

①社会福祉法人としての責任を意識した財政運営
(取り組み内容)

- ・会費のあり方の見直し
- ・収益事業の見直し
- ・費用対効果を意識した業務運営

②新たな福祉課題やニーズに対して専門性・継続性を活かした支援ができる職員の育成
(取り組み内容)

- ・職員研修制度の充実
- ・職員の待遇の見直し
- ・登用・継続雇用を含む計画的な職員の採用



強化目標3

地域福祉の要としての社協のPRと客観的な評価システムの構築

(取り組み内容)

- ・広報活動の強化
- ・事務事業評価
- ・システムの導入

「彦根市地域福祉活動計画」の構成(イメージ)

学区(地区)住民福祉活動計画

地域福祉推進計画

基盤強化計画(彦根市社協事務局の基盤強化)

「彦根市地域福祉活動計画」は、中面の「地域福祉推進計画」と、上記の「学区(地区)住民福祉活動計画」、「彦根市社協基盤強化計画」の3つの計画の総称です。

<この第1次彦根市地域福祉活動計画(概要版)は「社協ひこね」より取り外して保存ください>

平成27年度 福祉のまちづくり活動助成事業

彦根市社会福祉協議会では、市内のボランティア団体や市民活動団体などが、市内において福祉のまちづくりに取り組む小地域福祉活動や社会貢献活動を応援します。

【助成対象】

彦根市社会福祉協議会の重点事業である小地域福祉活動やボランティア活動の推進に取り組む市内の学区（地区）社会福祉協議会およびボランティア団体ならびに市民活動団体

※ただし、これまでに本助成を2回受けた団体は対象外とします。

【助成対象事業】（一例）

- ・市内のボランティア活動を推進する事業
- ・福祉に関する啓発に取り組む事業
- ・高齢者や障がい者、子ども（若者）等を支援するためのネットワークをつくる事業
- ・地域住民の出会い、つながりの場をつくる事業
- ・同じ悩みを持つ人たちのよりどころをつくる事業
- ・団体や個人の交流を通じ参加者の福祉に対する資質を高める事業

＜実施時期＞
平成28年3月末までに
完了できる事業

【対象外事業】

- ・すでに完了している事業
- ・自治会等、地縁により結成された団体及び自主防災会が行う事業
- ・申請時点で通算2回この助成を受けた団体等による事業
- ・営利目的や公序良俗に反するもの、宗教的・政治活動

【助成額】

助成対象経費相当額（千円未満の端数は切り捨て）

※ただし、1団体につき20万円を限度とします。

【受付期間】

平成27年6月15日（月）～7月3日（金）まで

※午前8時30分～午後5時15分まで（ただし、土日祝は除きます）

【申込・問合せ先】

彦根市社会福祉協議会 地域福祉課

彦根市平田町670 福祉センター別館 TEL：22-2821 FAX：22-2841

※実施要項および申請書は、本会ホームページからダウンロードいただけます。（PDF形式）

【ホームページアドレス】 <http://www.hikone-shakyo.or.jp>



お知らせ

出会い ふれ合い 支え合い

民生委員
児童委員
の活動

高宮民児協

◎子育て広場（わいわいひろば）

地域の子ども達がすこやかに成長する事を願い、毎月子育て広場（わいわいひろば）を開催しています。広いホールで、たくさんのお友達と遊具やオモチャで元気いっぱい、親子で楽しいひとときを過ごしませんか！



ママ友作りや子育て相談、育児に関する情報交換の場にもなっています。ぜひご参加を！おじいちゃん、おばあちゃんも一緒にどうぞ、お待ちしています。

【日時】毎月第3木曜日10時～11時30分
 【場所】高宮地域文化センターホール
 【対象】0歳児～未就学児 参加費無料
 【本件担当】田中（自宅）TEL 22-0765

城東一民児協

◎『お元気ですか！いかがお過ごし？』
～春の友愛訪問～

5月12日から18日は活動強化週間です。私たち民生委員・児童委員は「広げよう 地域に根ざした思いやり」行動宣言に基づき安心してすみ続けることのできる地域社会づくりのために幼児対象・小学生対象「子育て広場」や「高齢者福祉バス日帰り旅行」などの活動を展開しています。その中で強化週間に因んで、75歳以上で独

城東一民児協

◎人権研修を行いました！

平成27年5月16日（土）、彦根市人権政策課の指導専門員、福原重和さんを講師に迎えて城東一民児協・人権部会の研修を行いました。



「住みよい街づくりを目指して、人にやさしく、人を大切に、目指そう素敵な大人」をテーマに、若者や女性との価値観の違いなどについて学びを深めることができました。

【本件担当】吉田芳子 TEL 24-1568

り暮らしのお年寄り宅へお体の具合など声掛け訪問し、お元気にお暮らしの様子を確認しました。



【本件担当】
吉田 正弘
TEL 22-9118

- ① 悪い生活習慣を続ける「食べすぎ・飲みすぎ・喫煙・運動不足・ストレス」
- ② 体液量やイオンバランスを調整する
- ③ 血液をつくる
- ④ 老廃物を体から追い出す
- ⑤ 血圧を調整する



腰の後ろにあるソラマメ型の握りこぶし大の小さな臓器です。2つありますので、予備能力が高く、少しのダメージがあっても働き続けます。しかし、一度壊れると元に戻ることができない臓器です。

腎臓は高血圧や糖尿病などの血管や血液に損傷を与える病気と関連があり、日本成人の8人に1人が慢性腎臓病にかかっていると言われています。（日本腎臓病学会会より）

○最近の動向
腎臓は髪の毛ほどの細い血管の集まりであるため、早くからダメージを受けています。心臓や脳血管の動脈硬化も進行していきます。

保健師からのメッセージ 90
年代別健康づくり情報！
（ライフステージに応じた健康づくり）

今回のテーマ
中年期の健康づくり
あなたの腎臓は疲れていませんか？



① 悪い生活習慣を続ける「食べすぎ・飲みすぎ・喫煙・運動不足・ストレス」

② 生活習慣病を発症【高血圧・糖尿病・脂質異常・高尿酸血症など】

③ 全身の動脈硬化が進む

④ 慢性腎臓病を発症する
（腎機能の低下→末期腎不全を発症（人工透析療法が必要））

⑤ 合併症発症の恐れ
【心筋梗塞・脳卒中・心不全など】

尿検査（尿たんぱく・尿潜血）

肾臓に障害があると血液中のたんぱく質や赤血球が尿に漏れだします。
さらに、血液検査の他項目も合わせてみるとことで、血管の変化をより詳しく知ることができます。

e GFR
クレアチニン

筋肉に含まれている、たんぱく質の燃えカス。腎臓でろ過され尿中へ排泄されます。腎臓の働きが悪くなると血液中にクレアチニンが増加します。

年齢、性別、クレアチニン値（血液中の老廃物）から算出し、60 ml / 分未満で、腎臓の働きの低下を示します。

⑥ 1年に1回健診を

次回の検査項目で腎臓の働きを知ることができます。

⑦ 検査項目
【心筋梗塞・脳卒中・心不全など】

⑧ 全身の動脈硬化が進む

⑨ 腎臓は髪の毛ほどの細い血管の集まりであるため、早くからダメージを受けています。心臓や脳血管の動脈硬化も進行していきます。



金銭預託

(敬称略)

氏名または団体名	金額(円)
川瀬馬場町駅地区老人会	3,500円
ピアゴ松原店	17,168円
滝一郎	1,614円
匿名	1,939円
彦根商工会議所	150,000円
匿名	1,000円
匿名	2,939円
匿名	860円

物品預託

(敬称略)

氏名または団体名	品目
上田久一	衣類
日笠玲子	衣類
彦根市デイサービスセンターきらら	紙おむつ
彦根市生涯学習課	はがき
疋田健一	紙おむつ
山田喜代美	紙おむつ
島津幸子	はがき
後三条シニアクラブ寿楽会	テレホンカード
林 武子	食器、海苔、お米
小泉町一男性	タオル
長崎太四郎	紙おむつ
辻堂町老人会	タオル、靴下
林はる美	お米ギフト券
大阪ガス すずらん会	ビデオカメラ一式
北川博	車椅子1台
中辻宏之	衣類、布団等
(公社)滋賀県宅地建物取引業協会青年部会	車椅子7台
匿名	タオル、風呂敷
匿名	下着他
匿名	ランドセル
匿名	紙おむつ、ブレザー
匿名 (2件)	お米
	衣類

善意銀行からのお願い

○古切手・ベルマークなど分別のご協力をお願いします。
 ○広報紙「社協ひこね」の点認・音訳、また、預託者のお名前・社名等を公表するにあたり、下記のことにつき協力ください。
 1) 公表することにご了承いただける場合は、お名前等をはっきり明記してください。
 2) お名前・社名等は必ず『フリガナ』の記入をお願いします。
 一特に意思表示のない場合は、掲載させていただきます。――

あたたかい思いやり ありがとうございました。

お問い合わせ先 ▶彦根市社会福祉協議会 彦根善意銀行 ☎22-2821

平成27年3月1日~4月30日

〈古切手、使用済みテレホンカード〉 (敬称略)

- △後三条シニアクラブ寿楽会 △西田信子 △レントリー滋賀㈱
- △彦根市子育て支援課 △八月十六 △彦根市ふたばデイサービスセンター △林はる美 △株岡島トーヨー住器 △日夏保育園
- △田中絢菜・結菜 △ディスコン金亀倶楽部 △滋賀銀行彦根南支店 △株ワールドプラン彦根営業所 △友仁アロフェンテ彦根
- △滝一郎 △(公社)自彌術普及会彦根教室 △彦根市保健体育課
- △彦根市納税課 △村岸綾子 △平田大沢清草会 △彦根市市民課
- △要約筆記サークルキャロット △日笠玲子 △株松井建設
- △N P O ぽぽハウス △彦根市生涯学習課 △ひこね国際交流会VOICE
- △彦根市税務課 △野瀬毅 △株南エンジニアリング
- △植西香代子 △彦根市生活環境課 △ミタニダンススタジオ
- △株川地工務店 △島津幸子 △彦根市健康推進課 △彦根市デイサービスセンターきらら △門川義信 △宮崎セツ子 △株共進自動車 △勤労者互助会 △しあわせ保育園 △彦根市障害福祉課
- △辻堂町老人会 △城南学区老人クラブ連合会 △さざなみ苑
- △株サンドアクシス △株ナナイキ彦根工場 △有光田産業 △高宮幼稚園 △匿名 (6件)

〈ベルマーク・ロータスクーポン〉 (敬称略)

- △レントリー滋賀㈱ △林はる美 △浅井久之 △後三条シニアクラブ寿楽会 △日笠玲子 △ひこね国際交流会VOICE △島津幸子 △彦根市デイサービスセンターきらら △宮崎セツ子
- △木下恵美子 △N P O ぽぽハウス △辻堂町老人会
- △匿名 (1件)

●物品の寄付につきましては、持参いただく前に連絡願います。衣類、くつ下、タオルなどの未使用品、家具、福祉用具などは今後も活用できる物をよろしくお願いします。

◆南老人福祉センターからのお知らせ◆

※市内在住で60歳以上の方が対象です。

講座名等	期 日	時 間	定 員	参 加 費	内 容	応募締切日・備考
無料相談会	9月2日(水) 12月2日(水)	AM 9:30 ~ AM12:00		無料	・地域包括支援センターいなえ ・南デイサービス ・彦根市社会福祉協議会地域福祉課 上記の3部署で連携し相談業務を行います。	左記日程以外でも、随時受付てあります。
シニア元気塾	9月・10月・11月 (3ヶ月間、全6回) 第2・第4木曜日	AM 9:30 ~ AM11:30	15名	無料 材料費実費	今年度、内容をリニューアルしました！歴史探訪ウォーク、シニア料理教室を行います。	8月31日(月) 運動制限の無い方
第7回発表会	7月3日(金)	AM 9:00 ~ AM11:30		観覧無料	当センターで活動されている自主クラブの皆さんによる発表会です。 (健康体操・大正琴・ハーモニカ等) どなたでも、観覧していただけます。	申込み不要 会場 みづほ文化センター

①受講希望の方は、応募締切日までにハガキ・FAXにて、「希望講座」「氏名」「住所」「電話番号」を明記し、下記までお申し込み下さい。

②定員になり次第締め切らせて頂きます。受講者の方には1週間～5日前にハガキにて、ご案内させていただきます。

③受講者人数が定員に達しない場合は、お申し込み頂きました場合でも、講座を中止させて頂く場合がありますので、ご了承下さい。
(お申込み者には、ハガキにてお知らせいたします)

※その他、詳しい事につきましては電話等でお気軽にお問い合わせください。

平成27年度彦根市日中一時支援事業 ボランティア募集のお知らせ

〈内容〉 夏休み期間中に開かれる、障害児のための「彦根市日中一時支援事業」に参加する児童の保育・介助ボランティアを募集します。
あなたもボランティアとして活動してみませんか？

〈期間〉 7月18日(土)～8月31日(月)
※開催時間は参加いただぐ事業所によって異なります。

〈場所〉 彦根市内、犬上郡甲良町、豊郷町 ほか
※場所は参加いただぐ事業所によって異なります。

〈対象〉 障害のある子どもの保育に熱意・関心のある人
(原則15歳以上の人)

〈募集期間〉 7月1日(水)～7月17日(金)

〈申込方法〉 下記問合せ先（各事業所もしくは彦根市障害福祉課）にご連絡ください。

〈申し込み・問合せ先〉

- ・社会福祉法人 青い鳥会 彦根学園 さくら
TEL: 0749-22-2266 FAX: 0749-22-9767
- ・社会福祉法人 とよさと ステップあっぷ21
TEL: 0749-35-0333 FAX: 0749-35-2123
- ・特定非営利活動法人 滋賀リリースサポートセンター
TEL: 0749-26-8960 FAX: 0749-47-5472
- ・特定非営利活動法人 彦根育成会 手づくり工房 種芸
TEL: 0749-20-9114 FAX: 0749-20-9115
- ・特定非営利活動法人 NPOほぼハウス
TEL: 0749-21-0664
- ・サマホリくらぶ
TEL: 090-4767-9741 メール: summerholidayclub@yahoo.co.jp
- ・彦根市障害福祉課 TEL: 27-9981 FAX: 26-1767
メール: shogaifukushi@ma.city.hikone.shiga.jp
※FAX・E-mailの場合は氏名・住所・電話番号を必ず記入して下さい。

あらゆる悩みや困りごと…
ひとりで抱え込まず
お気軽にご相談ください

心配ごと相談

毎週水・金曜日 13:00～16:00

場所：彦根市福祉センター別館2階相談室

★予約不要・相談無料 ★祝日の場合はお休みです。

問合せ：彦根市社会福祉協議会 TEL22-2821 FAX22-2841



貸衣装ニュース!!

- ・単品貸出OK！
- ・市外の方OK！

- ◎ご要望の多かった色留袖が
ついに入荷しました！
- ◎新作黒留袖、訪問着、洋服も
続々入荷予定です。

詳しくはホームページをご覧いただくか、
直接、貸衣装室までお問い合わせください。

※詳細のお問い合わせは下記まで！

【場所】彦根市福祉センター別館1階 貸衣装室(彦根市平田町670)

【営業時間】月～金曜日 8:30～17:15 (祝日は除く)

【お問い合わせ】彦根市社会福祉協議会 電話:22-2821㈹ FAX:22-2841

ホームページ <http://www.hikone-shakyo.or.jp>

この事業で得た収益は、彦根市社協が推進する地域福祉活動に
広く活用しています。

大好評！

社協クイズ 138

問題

「彦根市地域福祉活動計画」は、「住民福祉活動計画」「彦根市社協基盤強化計画」「○○○○推進計画」の3つで出来ています。

さて、○○○○に入る言葉は何でしょう？

はがきに、①クイズの答え、②住所、③氏名(フリガナ)、
④年齢、⑤電話番号、⑥今月号の感想やまちのほっと
な話題等をご記入のうえ、
平成27年7月3日(金)(当日消印有効)までに
〒522-0041 彦根市平田町 670
彦根市社協「社協ひこね」クイズ係

あてご応募ください。

抽選で5名様に「ふくしの店」からすてきな
プレゼントを差し上げます。

応募方法

いつもたくさんのご応募ありがとうございます。
おしくも当選を逃された方、今回はがんばって！

前回(4月15日号)の答え

3つでした。

当選おめでとうございま～す♪

石田 時子さん 北村 末雄さん 小杉 敬子さん
さくらもと 櫻本 博子さん 正田 房さん

読者のみなさんからご提供いただいた個人情報は、当選者へのプレゼント発送・ご質問に対する回答など、今後の地域福祉活動の参考にさせていただきます。他の目的には、使用いたしません。

☆あなたのまちの「ほっとな話題」をぜひ教えて
ください。身近な地域が取りあげられるチャンス！